

大阪湾における赤潮の長期的な変化傾向の把握に関する試み

1. 背景

- 赤潮の長期的な変化傾向については、これまで、各年における確認件数の推移により把握してきた。
- しかし、赤潮の確認方法として、規模の大小にかかわらず、継続している間は1件とカウントするため、確認件数の推移が必ずしも発生規模の推移を示さないという課題があったため、赤潮の確認件数以外の方法による、赤潮の長期的な変化傾向の把握を試みた。

2. 使用データ

○水産庁瀬戸内海漁業調整事務所が、関係府県の水産系試験研究機関のデータを集約して発行している報告書「瀬戸内海の赤潮」に掲載されている「灘別の赤潮発生状況一覧表」にあるデータ

(1) 対象データ

- ・大阪湾に関するデータのうち大阪府が把握したもの

(2) 対象項目

- ・赤潮ごとの発生継続日数
- ・赤潮ごとの最大面積

(2) 対象期間

- ・平成8年から平成25年

表「灘別の赤潮発生状況一覧表」の記載例（平成25年報告書）

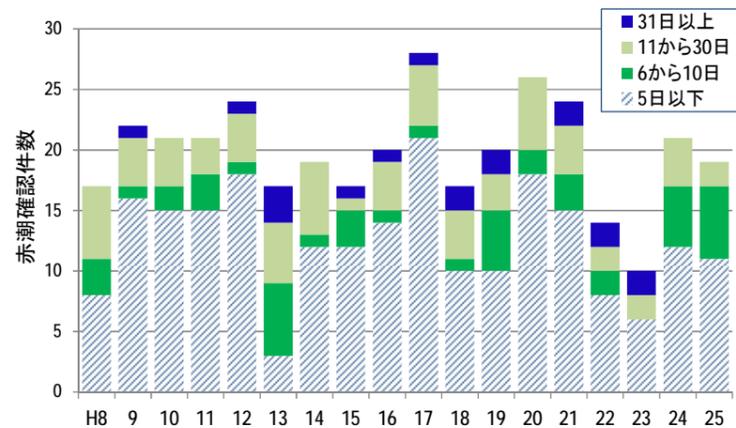
灘名	府県名	発生日	終息日	日数	発生海域	赤潮構成プランクトン	発生原因	被害金額(千円)	最高細胞数(Cell/ml)	最大面積(km ²)
大阪湾	大阪府	2013-03-05		(1)	堺市から泉大津市にかけての沿岸域	<i>Chaetoceros</i> spp.	無		7,530	140
		2013-04-01		(1)	神戸市から西宮市にかけての沿岸域から神谷	<i>Chaetoceros</i> spp. <i>Skeltococcus</i> sp.	無		5,530	220
		2013-04-15		(1)	神戸市沿岸域	<i>Pseudoitzschia</i> sp.	無		2,200	90
		2013-04-15		(1)	西宮市沿岸域	<i>Alexandrium tamarense</i>	無		714	90
		2013-05-01		(1)	堺田島港内	<i>Alexandrium tamarense</i>	無		65,800	不明
		2013-05-01		(1)	神戸市から西宮市にかけての沿岸域から神谷	<i>Pseudoitzschia</i> sp. <i>Leptocylindrus danicus</i>	無		2,290	190
		2013-05-08	2013-05-13	(6)	西宮市から泉大津市にかけての沿岸	<i>Leptocylindrus danicus</i> <i>Skeltococcus</i> spp.	無		16,700	330
		2013-05-20		(1)	神戸市神谷域	<i>Noctiluca scintillans</i>	無		不明	不明

3. 把握した事項

- ①赤潮ごとの発生継続日数別に見た赤潮確認件数
- ②赤潮ごとの発生継続日数の年間積算値
- ③赤潮ごとの最大面積の年間積算値
- ④赤潮ごとの発生継続日数と最大面積を掛け合わせたものの年間積算値
- ⑤各年で確認された赤潮のうち、最も面積が広がった赤潮の最大面積

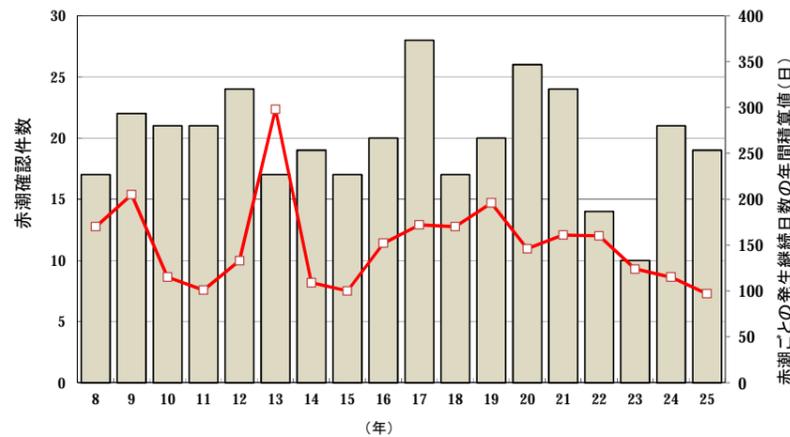
①赤潮ごとの発生継続日数別に見た赤潮確認件数

・発生継続日数別に見た件数の構成比に変化傾向は認められない。



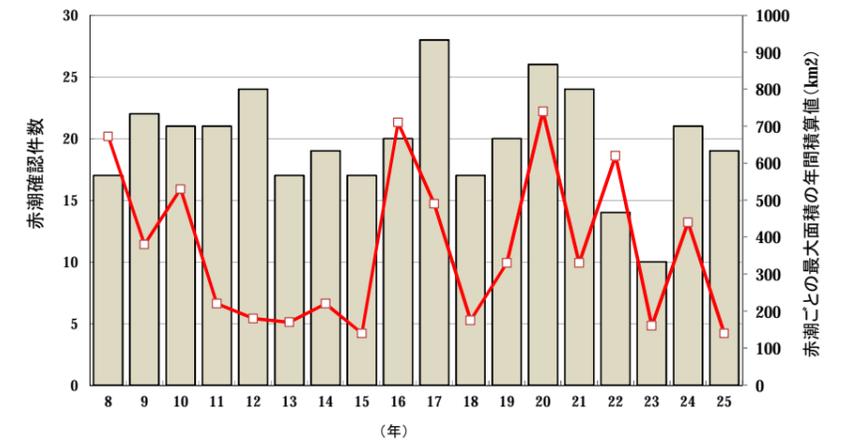
②赤潮ごとの発生継続日数の年間積算値

・平成13年を除くと、値に大きな変化は認められない。



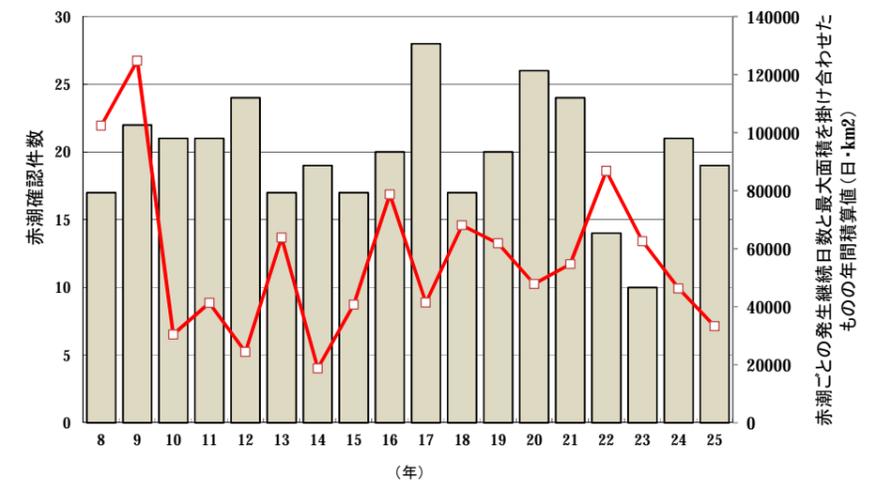
③赤潮ごとの最大面積の年間積算値

・年による大きな変動が認められる。



④赤潮ごとの発生継続日数と最大面積を掛け合わせたものの年間積算値

・平成9年前後で値のレベルの変化が認められる。



⑤各年で確認された赤潮のうち、最も面積が広がった赤潮の最大面積

・平成11年前後で値のレベルの変化が認められる。

